

授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	茂原市立茂原中学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成30年度調査では数学A、Bともに全国平均をやや下回る結果であった。
- ・問題形式別に見ると「記述式」が全国平均を大きく下回り、無解答も多く見られた。
- ・事象を解釈し、考えを筋道立てて説明したり数学的な表現を使って説明したりすることに課題がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 既習の学習内容や方法を振り返る場面の工夫をすれば、課題解決の見通しをもつことができるであろう。
- 対話による学びの場面を工夫すれば、数学的な思考力や表現力が高まるであろう。

3. 具体的な実践

- ・授業の中で問題解決の見通しをもたせる場面と時間を確保した。（ノートにつぶやき欄を作成）【別添資料1】
- ・生徒一人一人が自分の考えをもち、それを表現するための工夫をした。（考え方や方法として使うことのできるような既習事項を付箋紙に記入する等）【別添資料2】
- ・考えを共有する場面の工夫をし、一人一人の考えを広げた。（付箋紙・ホワイトボード・思考ツール等を利用し、考えを可視化して共有した。）【別添資料3（指導案）】
- ・既習内容を振り返る場面を意図的に設けることで、問題解決に既習内容を活用する意識を育てるようにした。【別添資料4・5（指導案）】
- ・数学的な視点・表現を入れた意見を交わすことを意識させペア学習・グループ学習を行った。

4. 成果

- 検証授業実施学年の結果について
 - 2年 事後調査に「平成31年全国学力・学習状況調査」6（2）一次関数の問題を実施したところ、全国平均正答率に比べ9ポイント、本校3年平均正答率と比べ6ポイント上回った。また、無解答率についても全国平均と比べ8ポイント、本校3年平均と比べても2ポイント低くなった。
 - 授業改善の視点から
 - 考えを書き出した付箋紙を思考ツールで可視化してまとめていくことで意見を比較・共有がしやすくなり、解決の見通し等が立てやすくなっている。また、話し合い活動も活発になった。
- 【別添資料6】

◆担当指導主事から（東上総教育事務所 指導主事 白土 俊幸）

茂原中学校は、全国学力・学習状況調査の分析結果から自校の課題を捉え、2年間を見通して段階的に課題解決に取り組む計画を立てている。また、「授業づくりのグランドデザイン」を作成し、他教科等においても共通の課題と捉え、授業研究を積極的に実践していた。